

女性安全対策マニュアル

女性が安全に暮らせるために



滋賀県警察本部

はじめに

このマニュアルでは、女性の犯罪の被害防止について、まとめています。

この冊子が対策をとっていただくためのきっかけとなり、女性が安全に暮らせることができれば幸いです。

あなたの住まいは大丈夫???

「防犯チェック」をしてみましょう

~住まいの防犯チェックのポイント~

駐輪場や駐車場は十分な照明があるか

建物の周囲に犯人の足場になるような荷物を置いていないか

2階以上でも植栽やパイプ等が足場とならないか)

共有玄関やエレベーターホールには、防犯カメラが設置されているか

玄関出入口は、犯罪に強い鍵にしているか

賃貸マンション等の場合は管理者等に相談してみましょう。

一人暮らしのマンション内では・・・

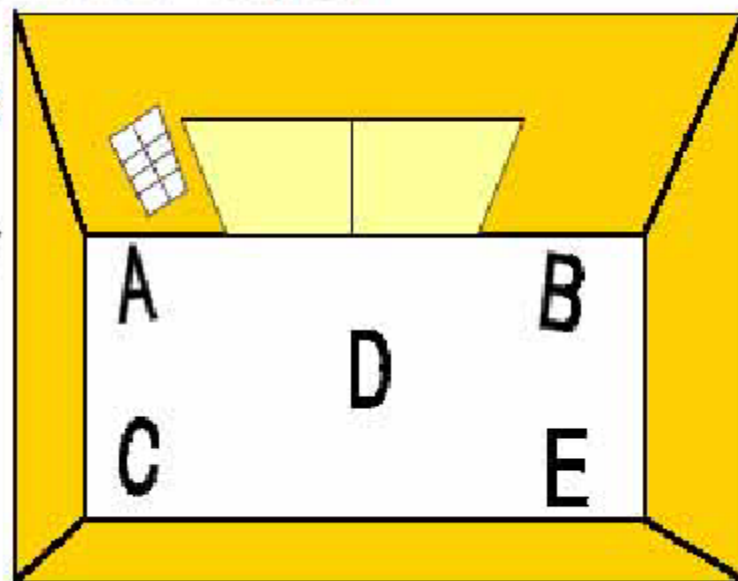
性犯罪から身を守るための注意事項をあげました。他人事ではありません。ほんの少しの注意が、身の安全を守ることになります。

エレベーターの乗り方

◆エレベーター内での乗る位置～どこが安全でしょうか～

閉まる直前に知らない男性が
乗り込んできました。

あなたは、どの位置に乗りま
すか？



答えは、次のページ

答えは A。

知らない人が、ドアの閉まる直前にエレベーターに乗り込んできたら用心しましょう。

もしエレベーターで二人きりになったら、相手に背中を見せずに壁を背にして、すぐに緊急連絡ボタンが押せる位置に立ち、最寄りの階で降りてしまうことです。



【エレベーターに乗る前に】

エレベーターに乗る前にエレベーターの周囲を確認し、男性と二人きりで乗り合わせないようにしましょう。

男性と二人きりになってしまい、「こわい」と思ったときは、近くの階のボタンを押して、止まった階で降りてしまいましょう。

【乗る位置は】

非常ベルの押せるドア前に乗りましょう。

後ずさりをして、奥に行かないようにしましょう。

犯人に背中を向けて立つのは危険です。エレベーターの壁を背にして乗りましょう。



部屋へ帰宅するときは・・・

犯人は、あなたと一緒にエレベーターに乗り、あえてあなたが押した下の階で降り、駆け足で階段をのぼって、あなたがドアを開けた瞬間に後ろから襲いかかります。

呼び鈴を鳴らしてから鍵を開けたり、家の中に人がいるかのように「ただいま」と言いながら家に入りましょう。

ドアを開けるときには周りをよく確認しましょう。

普段から近所づきあいをして、隣の人に助けを求められるようにしましょう。



部屋への侵入を防げ！

マンション等の高層階に住んでいる女性は、特に窓の施錠に対して無頓着になりがちですが、窓から侵入してくる犯人も多く、油断は禁物です。



家に入ったらすぐに鍵をかけましょう
窓を開けっ放しにして寝るのはやめま
しょう

鍵は、1 ドア 2 ロックを基本としまし
ょう。

出かけるときは、全ての窓に鍵をかけ
ましょう。

押し入り

犯人は狙いをつけた女性が一人であることを確認し、「隣の人の荷物を預かって欲しい。」「メーターを調査しています。」等と口実でドアを開けさせて、室内に押し入ります。

必ず、ドアスコープで確認し、相手の身分が確認できるまで、ドアチェーンを外さないようにしましょう。

表札に男性の名前を併記する、玄関に男性の靴を置く、ベランダに男物の下着を干すという方法で、一人暮らしでないことを装いましょう。



居留守は危険

ピッキングを使用した泥棒は、家人の不在状況を確認するために、チャイムを鳴らして確認します。居留守を使った場合、泥棒が鍵を開けて、侵入してくる場合がありますので、要注意!!!